

## 「道路政策の質の向上に資する技術研究開発」（令和3年度採択）

## 中間評価結果（公表用／ソフト分野）

番号	研究名	研究代表者	評価
2021-1	特殊車両の折進可否判定の自動化と特車フリー道路ネットワーク計画手法の研究開発	立命館大学 教授 塩見 康博	A
<p>&lt;研究の概要&gt;</p> <p>衛星画像データ等に基づいて交差点平面図を生成する手法や、特車の折進可否と通行条件判定、走行軌跡生成を自動化する手法を開発すると共に、速達性や頑健性等の指標に基づく特車フリー道路ネットワーク計画手法を構築する。</p> <p>&lt;中間評価結果&gt;</p> <p>特車に関する道路システムのDB構築（テーマ1）、特車通行許可判定の自動化に資する技術開発（テーマ2）、特車の通行に対応した道路ネットワーク計画手法（テーマ3）の各テーマが、成果を統合し実務への適用まで見据えられた上で、順調に進捗している。特車行政の効率化・DXに大いに貢献する最終成果が得られることを期待する。</p> <p>&lt;参考意見&gt;</p> <ol style="list-style-type: none"><li>1. テーマ1について、道路情報便覧への市町村管理道路の収録率が低いことから、市町村担当者が確実に入力するよう、業務実態を踏まえ、図示・精度比較等、担当者に扱いやすいDBとしていただきたい。</li><li>2. テーマ3について、特車通行のラストマイルで支障になりやすいと考えられる県道・市町村道を、可能な範囲で道路ネットワーク計画手法の検討対象としていただきたい。</li><li>3. モデルエリアにおける検討において、各テーマで開発した手法の組合せ検討を効果的に実施し、組合せ方法の提示、到達技術レベルの確認、今後に向けた課題抽出を適切に行っていただきたい。</li></ol>			

※本中間評価は、新道路技術会議の各委員が評価を行い、第47回新道路技術会議において審議したものである。